

項目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築	NO	2-2
----	------------------------	----	-----

事業名	みどり環境交付金事業		
事業費	90,000 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課

1 目的

- ① 地域における住民の意向やそれぞれの地域の課題に沿って作成した「里山再生アクションプラン」に基づく森づくり活動等の取組みを総合的に支援する。
- ② 県民の積極的な森づくりへ活動への参加促進

2 事業概要

- ① 森林・自然環境学習
 - ・学校林や市町村有林を活用した取組み
 - ・新たに設ける学校林等の整備
 - ・少年自然の家などを活用した児童生徒、緑の少年団を対象にした取組み
- ② 自然環境の保全活動
 - ・湖沼や河川での水環境の保全活動
 - ・希少野生生物の生息地の保全活動
- ③ 豊かな森づくり活動
 - ・地域住民や企業との協働による森づくり
 - ・森林病虫害等防除事業等既存事業対象外の松くい虫対策とその普及啓発
- ④ 森林資源の利活用
 - ・県産材の普及啓発
 - ・間伐材や木質バイオマスの利活用

※ 上記の事業項目の例示のほか、以下の特認事業を設定する。

- 1 木質バイオマスの利活用
- 2 里山再生に向けた新たなシンボルゾーンの設置活動
- 3 野生動物と共生するための緩衝林帯の保全活動

◇交付金の種類

- (1) 基本配分枠(基本的課題への取組み)
各市町村ごとに、森林面積や児童生徒数などを根拠に上限額を設定
- (2) 特別配分枠(基本配分枠を超えた地域特有の取組み)
各市町村からの提案を受けて県が審査し、事業を決定

3 実施状況

- ・ 県内各地において、168事業を実施している（うち62事業は特別配分枠）。

① 森林・自然環境学習	61 (21) 事業	29,014 (13,648) 千円
② 自然環境の保全活動	10 (4) 事業	4,118 (2,418) 千円
③ 豊かな森づくり活動	52 (20) 事業	27,914 (9,615) 千円
④ 森林資源の利活用の推進	45 (17) 事業	28,154 (13,519) 千円
合計	168 (62) 事業	89,200 (39,200) 千円
- ・ 幅広い地域に根ざした活動が展開されている。
- ・ 税活用事業の課題整理を行うため、7～9月に市町村の実態調査を行った。
- ・ 事業実施の成果を発信するとともに、市町村と活動団体間の交流及び情報交換を行うため、1月に開催予定である「地域森づくり報告会」において、全市町村参加によるポスターセッションを実施する。

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成27年度みどり環境交付金事業の取組事例】

1 森林・自然環境学習

◇実施市町名：上山市
 ◇事業名
 ・森林世代間交流事業
 ◇事業内容
 里山での自然観察等を通じ、親子等の世代間で同じことをいっしょに体験することで、新たな発見の喜びを共有した。



2 自然環境の保全活動

◇実施市町名：大江町
 ◇事業名
 ・生き物等調査事業
 ◇事業内容
 森林近くの生き物の分布を調査し、身近な生物とそ生育環境について学ぶ。
 (写真は昨年のももの)



3 豊かな森づくり活動

◇実施市町名：東根市
 ◇事業名
 ・石崎山環境整備事業
 ◇事業内容
 地域のシンボルゾーンとして住民が自ら下刈等を実施したほか、近隣小学校の児童を対象に森林学習も行う拠点となっている。



4 森林資源の利活用

◇実施市町名：朝日町
 ◇事業名
 ・公共施設の木質化事業
 ◇事業内容
 町民や観光客が集まる公共施設に、西山材を利用した陳列棚等の木製品を設置し、地域産材の利用と林業への関心を高めるもの。
 施設では環境教育も行う計画。

製作中の西山スギ陳列棚
 オリジナルデザイン→
 ↓工事中の施設
 道の駅あさひまち



やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成27年度みどり環境交付金事業の取組事例】

1 森林・自然環境学習



「森林資源活用システム学習事業」
「最上町」



「自然体験学習支援事業」
「鮭川村」

2 自然環境の保全活動



「希少生物保全活動」
「真室川町」

3 豊かな森づくり活動



「自然体験学習会」
「新庄市」

4 森林資源の利活用



「町内ベンチの木製化プロジェクト」
「舟形町」



「県産材活用事業」
「真室川町」

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成27年度みどり環境交付金事業の取組事例】

1 森林・自然環境学習

環境教育推進事業 一小国町一



地域住民を対象として講座を開催し、森林の現状や自然環境を学ぶ機会を提供

2 自然環境の保全活動

まほろばの里緩衝林帯保全活動事業 一高畠町一



緩衝林帯の整備を実施し、地域住民と野生動物との共生を図り、地域住民の安全を確保

3 豊かな森づくり活動

絆を深める森林整備事業 一白鷹町一



朝日相扶製作所(株)の従業員やその家族、地域住民らとともに、白鷹町ふるさと森林公園付近の町有林を整備

4 森林資源の利活用

木材利活用普及促進事業 一南陽市一



南陽市文化会館内の木育博物館スペースに県産材を使用した玩具収納棚を設置し、木製品のPRを図った

やまがた緑県民税を活用した取組み 【平成27年度みどり環境交付金事業の取組み事例】

1 森林・自然環境学習



森のソムリエ【鶴岡市】



櫛引森林体験教室【鶴岡市】



里山歩き【三川町】



かぶと虫相撲大会【庄内町】



流しそうめん体験【庄内町】

2 自然環境の保全活動



サラリーマン林太郎【鶴岡市】



森の時間【鶴岡市】

3 豊かな森づくり活動



つるおか広葉樹の森再生事業
【鶴岡市】



遊佐町共存の森再生事業
【遊佐町】



光ヶ丘松林整備ボランティア
【酒田市】



山をきれいにウォーキング
【酒田市】

4 森林資源の利活用



丸太階段【三川町】

項目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築	NO	2-3
事業名	やまがた絆の森プロジェクト推進事業		
事業費	1,121 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課

1 目的

- ① 県民、企業等の多様な主体がいつでも気軽に森づくりに参加でき、森づくりの成果が実感できる仕組みを構築し、森づくりの成果が実感できる仕組みを構築し、森づくり参加者の増大と森林によるCO2吸収減対策を推進する。
- ② 里山の資源を高度に活用した地域交流を促進することで、里山地域の活性化を図る。

2 事業概要

- ① やまがた絆の森【企業の森づくり】
 - ・ やまがた絆の森協定
県がコーディネーターとなり、企業と森林所有者とのマッチングや、森づくり活動をサポートし、地域交流や里山資源の利活用による地域活性化を推進
(絆の森協定締結企業 31社・26地区)
 - ・ やまがた絆の森パンフレットの作成
各企業・団体による森づくり活動の内容などを紹介したPRパンフレットを作成・配布1,000部
 - ・ やまがた絆の森セミナー&活動報告会の開催
森づくりや環境・社会貢献等の有識者を講師に招き、セミナー(講演会)を行い、やまがた絆の森協定締結企業による森づくり活動の成果を広く周知し、新規企業の開拓を図る。